

## 投稿文を書こう

教科書出版社名 ( 三省堂 )

○ 中学校 ( 2 ) 年 教科等 ( 国語 )

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

- ・文章と図表などを結びつけ、筆者の考えを捉える力。
- ・文章を読んで理解したことと、これまでに身につけた知識や自らの経験とを結びつけて、自分の考えを広げる力。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

- ・意欲的に図書を使って、根拠となる情報を収集し、情報カードで整理する力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…目的に応じて資料やタブレット端末で、必要な情報を集める。
- 整理・分析…考えの根拠となる情報を調べたものの中から選択・整理し、投稿文を構想する。
- まとめ・表現・発信…投稿文を書き、班で共有・推敲し、投稿文完成させる。

○ 学習の展開 (全8時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印)

第1時 ☆	<ul style="list-style-type: none"><li>・世界で起きている水の危機について知る。(書籍「14歳からの水と環境問題」、映像資料)</li><li>・全文を通読する。</li><li>・思考ツール(ハウスチャート)で本文の構成をとらえる。(序論・結論)</li></ul>
第2時	<ul style="list-style-type: none"><li>・思考ツール(ハウスチャート)で本文の構成をとらえる。(本論)</li><li>・教科書で用いられる図表にはどのような効果があるかを考える。</li></ul>
第3時	<ul style="list-style-type: none"><li>・思考ツール(三角ロジック)で、筆者の考えを整理する。</li><li>・筆者の主張に対し、自分が考えたことをまとめる。</li><li>・テーマ「節水を進めるために、水の使用量に制限を設けるべきだ」について賛成、反対の立場に立ち、考えを共有する。</li><li>・グレートーンベリさんについて知り、スピーチをみる。(書籍「グレタたったひとりのストライキ」、映像資料)</li></ul>

第4時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事「個人が動けば、地球が変わるー野口健さん」を読み、投稿文について知る。</li> <li>・読み手の心に届く投稿文について考える。</li> <li>・思いつく環境問題をあげ、テーマを決める。</li> <li>・思考ツール（三角ロジック）を用いて投稿文での自分の主張をまとめる。</li> <li>・タブレットで情報を収集する。</li> </ul>
第5時 ☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題についての情報を収集する。 (図書やタブレットを用いて根拠となる情報を収集する。)</li> </ul>
第6～7時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投稿文に用いる情報を整理し、投稿文を書いていく。</li> </ul>
第8時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投稿文を班で共有する。</li> <li>・投稿文を推敲し、完成させる。</li> </ul>

(本時5 / 8時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

<p>本時のねらい</p> <p>自分の設定した環境問題についてのテーマに関連する資料を探し、その中から自分の考えの根拠となるものを選んで投稿文を書く際の資料として活用する。</p>
---

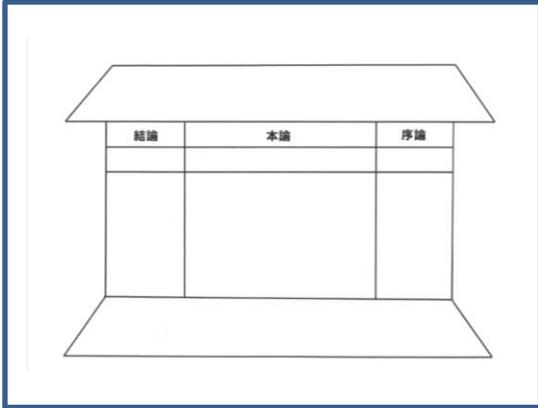
学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	<p><b>1.それぞれの環境問題のテーマに関連する資料を探すことを伝える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の資料を見るなかでテーマを変更したい、ということがあればそれも可、ということも伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットの情報も活用してよい。</li> <li>・情報カードには、出典を必ず書くインターネットの場合はURLを記入させる。</li> <li>・資料を探すのが難しい生徒は司書に相談できるように事前をお願いしておく。</li> </ul>
35	<p><b>それぞれのテーマに合う資料を収集する</b></p> <p><b>市立図書館から環境に関する書籍も事前に借りているのでそれも紹介し、使用してよいことを伝える。</b></p>	
	<p><b>2. 選んだ資料のうち、投稿文に使いたい部分がある書籍については、その部分を情報カードにまとめていく(2枚、必要なら3枚以上)</b></p>	

図書館活用ポイント

10	<p><b>3. 使用した書籍をもとの場所に戻す。</b></p> <p>次回投稿文の構成を考えていく作業に入ることを伝え、情報カードを提出する。</p>	
----	---	--

思考ツール「ハウスチャート」



思考ツール「三角ロジック」

